

ボックス 2-1	ジェンダー平等を推進する政策・制度支援	2-2
ボックス 3-1	GAD イニシアティブの概要	3-19
ボックス 4-1	政策・制度支援アプローチをより有効なものとするための手段： パイロット・プロジェクト	4-29
ボックス 4-2	「ODA ジェンダー担当官」の機能	4-32

用語解説

ジェンダー

「ジェンダー」とは、社会によって性別に割り当てられた役割が社会規範(価値観・慣習)を反映することから、生物学的性別(sex)に対し社会的・文化的につくられた性別を意味する。「女らしさ」「男らしさ」といわれる特性や性別役割は社会や時代により異なり変化するが、社会規範が強固な場合、その変化は抑えられ、固定的・普遍的な性別の様相を呈する。性別役割に対する価値づけの違いが男女の関係性を規定し、不平等につながるメカニズムを理解するための基本概念である。

(開発における)ジェンダー主流化

「ジェンダー主流化」とは、開発の結果が女性に不利益をもたらさないように、開発政策・施策・事業計画の立案、実施、モニタリング、評価などのあらゆる段階で、男女それぞれに与える影響を分析し、男女それぞれの開発課題やニーズ、インパクトを明確にしていくプロセスである。これは、あらゆる分野でジェンダー平等を達成する手段である。

国内本部機構(ナショナル・マシーナリー)

「国内本部機構(ナショナル・マシーナリー)」とは、ジェンダー平等に関する直接の政策立案・調整機関である。形態は、女性省や女性課題省などの省庁の他、行政機関や議会内の委員会、オンブズマン、大統領付きのアドバイザーなど国によって異なる。

(ジェンダー平等のための)ナショナル・メカニズム

「ナショナル・メカニズム」とは、ジェンダー平等に関するあらゆる組織・機関を含めた体系のことであり、ナショナル・マシーナリーに加え、より広く、立法・司法・行政を含めた国家機関、独立した諮問委員会や監視機関、省庁間の連絡組織なども含まれる。